

# HOYOG 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

1993. 7. 70号

**門徒は堀氏が5選**  
一方、門徒宗会議員選挙は、堀 静男氏(姫路東組浄福寺門徒)の当選が決まった。同氏は宗会議員五期。



投票箱を確認する立会人



堀 静男氏



菅 義成氏



九折舜壽氏



豊原大成氏

任期満了に伴う宗会議員の総選挙は去る七月二日に僧侶宗会議員、七日に門徒宗会議員の日程で行われた。僧侶宗会議員選挙は、教区内三十九の投票所での投票と郵便投票で行われ、五

日の選挙会で開票が行われた。選挙会では六人の立会人のもと、第十八選挙区選挙管理委員会の波多正響委員長が選挙会入りを宣言し、開票会場を閉鎖して、投票

## 4宗会議員決まる

僧侶は 豊原、九折、菅氏

豊原大成氏62③六九〇票  
阪神西組西福寺副住職  
九折舜壽氏70③四六九票  
揖龍西組正専寺住職  
菅 義成氏58①四〇六票  
網干組聖安寺住職

次点の西脇修氏41(揖龍西組超念寺住職)の得票数は二八七票。



年齢を重ねるにつれて、若い頃村の年寄りたちの言っていたことが懐かしく思い出されてくる。◆極楽浄土へ参ったら、なんとあたり一面ぎっしりと稚草が生えているんや。よく見たら、稚草でうて人間の耳やないか。婆婆に居るときはありがたいお説教をたんとお聴聞したので、聞いた耳だけがお浄土に参ったわけやな。耳以外は、そりゃあ地獄に行つとるやろという耳の痛いお話◆耳のほかにお坊さんの口もたくさんお浄土の池に浮かんでいた、と言いたかったの

も知れぬと今にして思う。伝道・聞法が唇と耳という器官だけでなされていくとしたら恐ろしい話◆聞法とは有難い話を聞くことではなくて、今、私のいのちの置かれて有難い事実、気づかせてもらうことではなかったか。有難い話をする人、聞く所を必要とする人、私を生かしてくれるはたらきの有難さはいつでも、どこでも、今、ここで気づかせていただける。それが「功德は行者の身に満ちり」ということ。(山崎一朗)

| 教区だより 7・8月     |                |         |
|----------------|----------------|---------|
| 14日(月)~16(金)   | 別院常例法座 葦原正春師   | 1時半     |
| 14日(水)         | 仏婦ブロック研修 (阪神)  | 阪神西組西福寺 |
| 15日(木)         | 仏婦ブロック研修 (西播)  | 花北ホール   |
| 16日(金)         | 仏婦ブロック研修 (東播)  | 花北ホール   |
| 20日(火)         | 仏婦ブロック研修 (神戸)  | 別院      |
| 21日(水)         | 仏婦ブロック研修 (丹波)  | 水上西組照徳寺 |
| 22日(木)         | 仏婦ブロック研修 (但馬)  | 城崎組光行寺  |
| 23日(火)         | 近畿地区組長協議会      | 奈良      |
| 25日(日)~28日(水)  | 少年連盟サマースクール    | 富山      |
| 29日(木)         | 企画推進室会議        | 10時半    |
|                | ダーナ会議          | 2時      |
| 29日(木)~30(金)   | 全国保育大会         | 山口      |
| 30日(金)         | 都市開教振興金庫会議     | 津村別院    |
| 31日(土)~8月1日(日) | 全国真宗青年のつどい九州大会 | 福岡      |
| 1日(日)          | 暁天講座 和田智浄師     | 7時      |
|                | 総永代経開關法要       | 大谷本願    |
| 2日(月)          | 暁天講座 佐々木大観師    | 7時      |
| 3日(火)          | 暁天講座 藤田真哲師     | 7時      |
| 5日(木)~6日(金)    | 近同推寺族婦人研修会     | 奈良      |
| 7日(土)          | 第一土曜仏教講座 清岡隆文師 | 1時半     |



**別院書院・庫裏を譲渡します**  
締切りは8月20日

本願寺神戸別院改築・兵庫教区教化センター設立、総合復興計画が進められているが、境内建物除却物件について、書院・庫裏の譲渡希望を募ることになった。これは、本願寺神戸別院崇敬区域内住職・門信徒から、書院・庫裏の除却など廃棄処分するもので有効利用できるものであれば譲渡してはという声があり、別院財産管理委員会・総代会の同意を得て、責任役員会で議決されたもので、物件方法は次のとおり。

①所在地 神戸市中央区下山手通八丁目一番一号

②名称 「本願寺神戸別院書院・庫裏」

③構造 書院・庫裏。木造二階建、瓦葺

④面積 一階、五四一・二四㎡(一六三・七二坪) 二階、三二六・五五㎡(九七五・七五坪)

二、譲渡方法

神戸別院崇敬区域内寺院から希望者を募り、希望者全員との協議等で価格を決定する。

三、処分金の収納先、使途 別院改築(センター設立)資金に充当。

譲渡希望者は平成五年八月二十日までに、神戸別院までご連絡ください。

**お盆の「法」を ご門徒に**

新しくパンフレットになって好評の「法」シリーズ、お盆号を今月の教区新報と

一緒にお届けします。お盆の法話を掲載しておりますので、ご門徒さん向けの文書伝道にご利用ください。

今回も一部二十円で、百部以上の場合、無料で寺号を印刷いたします。お早めにお申込み下さい。

**敬 弔**

上月賢義師(こうづき・けんぎ) 加古川組円照寺住職 六月十二日、七十四才で往生。葬儀は六月十五日円照寺で、「自教院釋賢義」

昭和二十二年から住職在職四十六年。この間、昭和五十二年から同五十六年まで教区会議員を務めた。

高坂昭憲師(たかさか・しょうけん) 水上西組仏照寺住職 六月十六日、五十一才で往生。葬儀は六月十八日、仏照寺で、「無碍院釋昭憲」。

昭和五十年から住職在職十八年。この間、昭和五十二年から同五十六年まで副組長、昭和六十年から平成二年まで、同じく副組長を務めた。

赤松貞子さん(あかまつ・さだこ) 赤穂北組圓立寺坊守 六月二十六日、七十才で往生。葬儀は六月二十八日、圓立寺で、「圓鳥院釋尼妙貞」。

林 玉枝さん(はやし・たまえ) 姫路西組真宗寺坊守 六月十六日、八十四才で往生。葬儀は六月十八日、真宗寺で、「寶珠院釋歡喜」。

鷲谷明子さん(わしたに・あきこ) 佐用組光乗寺坊守 六月二十四日、九十一才で往生。葬儀は六月二十六日、光乗寺で、「瑞性院釋尼泰春」。

千鶴子さん(せき・ちづこ) 姫路西組長栄寺坊守 六月二十六日、六十八才で往生。葬儀は六月二十八日、長栄寺で、「千草院釋尼智願」。

# 上田義文師を偲んで ご入院中も執筆に全力

近藤龍樹  
(加古川組普光寺)



昨年より京都市内の病院で療養されていた上田義文先生が、四月二十六日に亡くなられました。生前お世話になった多くの人が遠近各地より相生のご自宅に駆けつけ、お通夜・葬儀ともに先生との別れを惜しみつつ厳粛に法要が営まれました。

上田先生は、一九〇四年岡山南組西方寺(備前市三石)にお生まれになり、龍谷大学教授・名古屋大学教授・筑紫女子短期大学学長を歴任され、文学博士として数多くの著書を残されま

した。入院中も先生は、原稿を書いておられました。その心血を注がれた本の出版を見るのができなかつたのは残念でたまりません。でも、ご夫人の力で近々出版されることになっているそうです。

思い起こせば、教区青年僧侶の会の講演会講師を先生にお願ひし、お話しを度々聞かせて頂きました。その時先生から「若い人ばかりで勉強会をやる」といった内容のお手紙が届いたのです。非常に嬉しく有難く思いました。早速、数

名の仲間を募り、相生の近くの方々に連絡のお世話をしてもらい「上田塾」が始まりました。先生は若いころからお体が丈夫ではないと聞いていました。先生がいつとも言われていたことは「親鸞聖人は、本

名の方に会ったお話を聞かされた小論文・先生の書かれた小論文・先生の資料をテキストに、先生を囲んでみんなと有意義な時間を持つことが出来ました。

先生がいつとも言われていたことは「親鸞聖人は、本當に仏様に出遇われたお方だから、後についていけば必ずお浄土に行けるよ」と「現代人には、仏教の言葉の持つ意味が通じなくなっているから、それを何とかしなければ」と「お仮名聖教」を宗祖が残してくださったのは「私ひとりのために聖人が書き残してくださったんです」と

今も忘れません。最後に、先生の長年におたご功績を讃えるとともに、心から哀悼の誠を捧げます。合掌

# 業論について 学びを

組・住職 同朋講座講師が研修

「御同朋の社会をめざして」住職、寺族が運動の核であることの自覚をうながすことを目的とした、組住職・寺族同朋講座の本年度の実施に向けて、六月二十三日、組住職・寺族同朋講座講師研修協議会が別院で開催された。

協議のテーマは昨年度の実施報告からの問題点で、各講師や組からの報告書を事務局がまとめたなかから教区基推委副会長の久堀弘義師が整理したもの。今、なぜ業・宿業なのか(問題の重要性が理解されていない)、業論の初歩的段階を

入念に(業論についての講師の入念な学びがない)などの点について、フリートリーキングの形で進められ、次のようなさまざまな意見が出された。

- ・前世の業はすべてあやまりか、すべて間違いか、前世はないのか
- ・この世のことはすべてこの世に責任があるのか
- ・今より前はすべて前世か、今を形成してきた歴史としての前世か
- ・業を認める仏教の立場として、今からの業を認識するための前世ではないか
- ・たとえば「うちの子だけがなぜ事故にあうのか」と嘆く母親の心をなぐさめるために、この問いかけの答えとして業論を使ってこなかったか
- ・法に遇ったことをよるこぶのであって、けつして病氣や事故をよるこぶことはできない
- ・宗祖は「宿縁」「業縁」とはいわれたが「宿業」は歎異抄だけである
- ・ありがたい説教、ありがたい信心とはなにか
- ・信心を取りにいく、そのことが問題
- ・信心の社会性というが社会性は信後か
- ・信心を現実逃避に使ってこなかったか

これらの意見を講師の問題として、連研資料8、連研シリーズなどを参考に深めていくことが確認された。

# 「悪人正機と死刑」を考える

## HO日誌

◆5月26日 寺婦連盟委員

総会。本年度事業計画は、ブロック研修(秋に三会場を予定)、聞法旅行(10/4・5・広島方面)など◆27日 門徒推進員会報編集委員会◆神崎組総代研修会に担当者出席◆職員勤式練習◆28日 同兵宗連總會を天理教兵庫教務支庁で。本年度重点目標は一、同和問題に対する基本的認識を深め部活解放基本法の制定に向け積極的に参画する。二、関係諸団体が主催する研修会等に積極参加し加盟教団独自の同和研修にも広く他教団に呼びかけ参加促進を図る、の二点◆30日 京都女子大から約七十人が団参

新宗教。ユーモアをまじえた新宗教の分析に参加者はうなずきながら熱心に聞き入っていた◆6日 永代経開闢法要を大谷本願で◆スカウトクラブ総会・土の会。「仏教へのみちびき」と題して宮里哲秀師(神明組真宗寺)が講演した◆7日 別院仏婦学習会。別院仏婦定例法座。講師は山本龍雄師(淡路組萬行寺)

ながら講演した◆8日 門徒総代会評議員総会。本年度事業計画・予算などを承認。役員改選があり雲山豊会長(姫路西組本誓寺)坂元一美(北撰組正光寺)多田実(出石組西宗寺)両副会長らが留任した。本年度ブロック研修は9/2 但馬ブロック(豊岡教室)9/3 丹波ブロック(水上西組西光寺)9/6 阪神・神戸ブロック(神戸別院)9/8 姫路・西播ブロック(姫路西組本徳寺)9/10 岡山ブロック(岡山北組當林寺)9/14 東播ブロック(播磨東組西入寺)と決定した◆少年連盟サマースクールスタッフ会議◆12日 神姫組住職寺族同朋講座を泰法寺で。講師は近藤龍樹師(加古川組普光寺)◆14日 本山での第

三連区基幹運動研修協議会に教務所長、教区基推委副会長の山崎一朗師と久堀弘義師、伝道教化推進専門委員代表の太田唯念師、赤

の研究会」は九月一日、別院で開催されます◆研修指導員部会。本年度実働について◆18日 企画推進室会議。僧侶研修、その他について◆広報部会◆姫路西組真宗寺前坊守・林玉枝さんの葬儀に教務所長参列、出勤した◆少年連盟組少年教化巡回研修会を阪神東組法専寺で。楠哲雄委員長の基調講話、藤井章兼副委員長のゲーム指導など。「ひまがない、子どもが集まらない理由だったが、工夫・学習・やる気しだいで、決

まったワケではなく自分の出来る方法でやればよいとわかり私もやってみようという気持ちになった」と同組の杉本痴覚組長。この研修会は年度内に赤穂北組が予定していますが、ご希望の組があれば教務所までご連絡ください◆20日 仏法ブロック研修を水上西組照徳寺で。二百十人が参加。講師は高務哲量師(福井教区福井組千福寺)、機谷秀昭師(赤穂南組浄専寺)。話し合いでは葬儀のあり方についての質問や、真宗ではこうするのだとはっきりしてほしいという意見などが出された。話し合いの時間が短すぎるという意見もありました◆21日 神戸老眼大学の約四百人が別院見学◆別院財産管理委員会。別院総代会。別院財産処分について◆23日 組住職・寺族同朋講座講師研修協議会。(別記)◆24日 保育連盟研修委員会を網干保育園で◆27日 仏法ブロック研修。百二十人が参加。講師は鈴木善隆師(滋賀教区野洲組明樂寺)◆この日投票が行われた尼崎市議会議員選挙で、波多正文氏(阪神南組正光寺)谷川正秀氏(阪神西組万徳寺)のふたりの住職が当選した。



6/18 法専寺での少年教化巡回研修会

◆6月1日 本山での地方選管委員会委員長・事務長合同会議に教務所長出席◆2日 3日 本山で全国布教使大会。教区から四十二人が参加◆5日 第一土曜日 仏教講座。講師は生駒孝彰師(京都文教短期大学教授)◆テーマは「現代社会と

「わたしも日校をやる」